

# 「聞いていない」拙速なやり方に保護者から疑問の声が

和歌山市は九月議会で貴志、貴志南小学校の給食調理を民間委託するための補正予算(五年間で約一億円)が提案され、市議会は賛成多数で可決しました。

(日本共産党議員団は反対しました)

和歌山市は「行政改革計画」で、各小学校給食を自校方式で実施している四十四校の半数を「コスト削減をする」として民間委託する計画を掲げています。今回の提案はその先駆けとなるものです。

和歌山市は貴志地区、各小学校給食の民間委託を行うおうとしています。保護者会、自治会などへの説明、事業者入札はまだ行われていません。

## 学校給食のあり方を一緒に考えましょう

学校給食は教育の一環であり、「自校方式」はその前提として取り組まれてきました。貴志地区では農家の協力を得て、子供たちに「田植え」「稲刈り」などの農業体験を通じて「食を考える」学習が進められています。

子供たちに地元、近隣農家でとれた野菜、穀物を子供たちと一緒に学びながら給食をとることの大切さが必要、との考えが広まっています。

「食材の安全」が不安な時だけに、給食の公的責任が問われるのではないのでしょうか。子供たち、孫たちの通う学校給食のあり方は「民間委託」でいいのでしょうか、「一緒に考えましょう」。

## 安全な食料は日本の大地から 日本共産党の提案

現在、輸入食品の残留農薬、「汚染米」の学校給食や病院食等への混入問題に、食料の安全確保が国民的課題となっています。日本共産党は「安全な食料は日本の大地から」と、「義務」のない輸入米の撤回と食料自給率五〇%台を、と提案しています。

米の輸入自由化は十五年前の細川内閣が決めた、村山内閣の国会決議以降、毎年アメリカなどから米が輸入されてきました。昨年の輸入米は七十七万ト。「汚染米」の多くは輸入米です。

## 小学校の給食民間委託等について

- 市財政削減優先ではなく、子供たちへの教育的配慮を優先させる。
- 保護者、自治会など関係者へ説明を行い納得を得る。
- 地元・近隣農家の農産物を食材に。
- 食の安全確保を最優先とし、輸入食材の使用は抑える。
- 「ふじと台」小学校に給食調理室を。
- 「ふじと台」小学校にプール設置を。



日本共産党市議会議員 渡辺忠広

日本共産党和歌山市議会議員

## 渡辺忠広ニュース

2008年10月 No. 16

自宅 和歌山市木ノ本71-54  
電話 073-452-5732  
Mail watanabe @ naxnet.or.jp



給食の民間委託が提案されている貴志小学校